農林水産統計
STATISTICS OF AGRICULTURE,FORESTRY AND FISHERIES

農林水産省
九州農政局

令和８年11月20日公表

作物統計調査
令和８年産水稲の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量（九州）

令和８年産水稲作付面積（主食用）は、15 万 3,700ha（対前年比 103%）。主食用米の予想収穫量は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで 74 万 700 トン（対前年比 101%）。10a 当たり予想収量は、482kg（対前年比 98%）。

【調査結果の概要】

1　九州における10月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅（1.80㎜、1.85㎜）ベースの予想収穫量（主食用）※1は74万700ｔで、前年産に比べ3,800ｔ増加と見込まれる。

※１　生産者が使用しているふるい目幅1.80㎜、1.85㎜ベースのふるい上米

これは、

① 作付面積（主食用）が15万3,700haで、前年産に比べ4,200ha増加となったことに加え、

② 10月25日現在における九州の10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）が、９月の低温・日照不足の影響などにより、前年産に比べ粒の肥大や充実が抑制されたことから482kg（対前年比98%）と見込まれるためである。

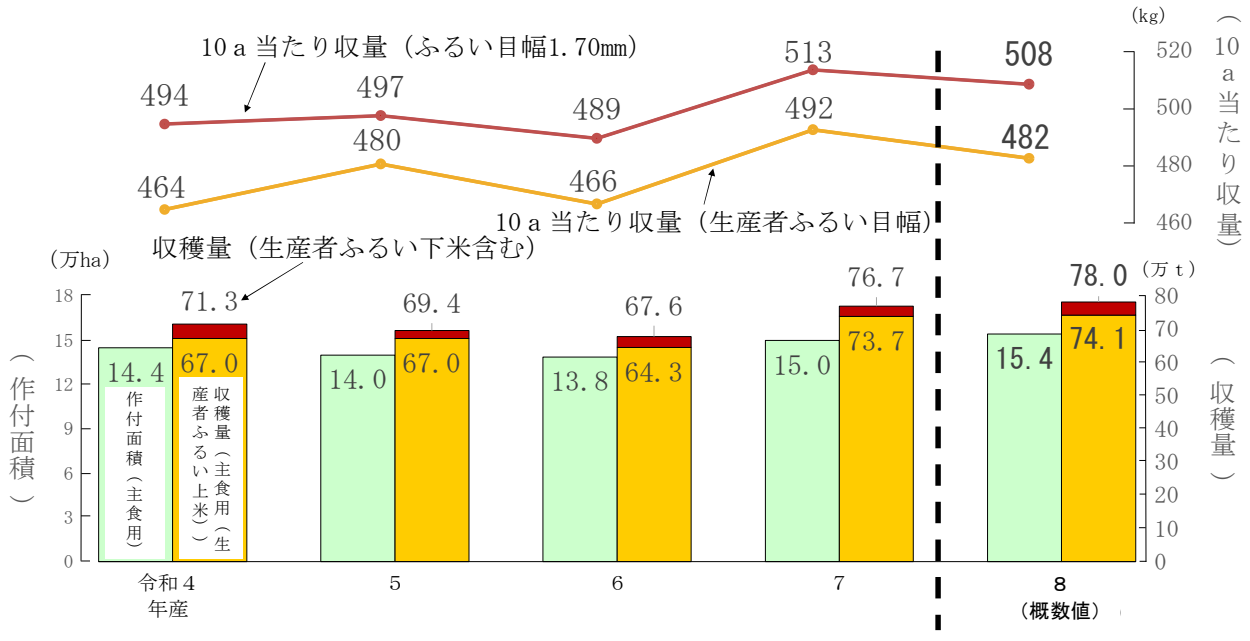
2　九州の作況単収指数は102と見込まれる。

参考

10月25日現在のふるい目幅1.70㎜ベースの予想収穫量（主食用）※2は77万9,700ｔで、前年産に比べ１万2,300ｔ増加と見込まれる。

※２　生産者が使用しているふるい目幅1.80㎜、1.85㎜ベースのふるい下米を含む。

図１　水稲の作付面積（主食用）、10ａ当たり収量及び収穫量の推移（九州）



○　作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10ａ当たり収量の前年産までの５か年中３年平均（最高、最低除く）に対する10ａ当たり収量の比率である。

○　10ａ当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。

◎累年データ

水稲の年次別推移（九州）

年　産	作付面積（主食用）	生産者が使用しているふるい目幅で選別			作況単収指数	ふるい目幅1.70㎜で選別		
		10ａ当たり収　量	対前年比	収 穫 量（主食用（生産者ふるい上米））		10ａ当たり収　量	対前年比	収 穫 量（主食用（生産者ふるい下米含む））
	ha	kg	%	t		kg	%	t
平成27年産	166,300	467	nc	776,600	99	484	nc	806,100
28	161,300	489	105	788,100	104	507	105	817,500
29	158,700	490	100	779,400	105	510	101	811,400
30	156,100	494	101	771,400	104	512	100	800,000
令和元	155,100	418	85	647,400	87	435	85	674,300
2	153,200	404	97	617,600	84	440	101	673,300
3	149,300	467	116	696,300	100	485	110	723,800
4	144,400	464	99	669,900	101	494	102	713,200
5	139,500	480	103	669,900	107	497	101	693,800
6	138,200	466	97	643,200	104	489	98	676,000
7	149,500	492	106	736,900	106	513	105	767,400
8（概数値）	**153,700**	**482**	**98**	**740,700**	**102**	**508**	**99**	**779,700**

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：１　作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（10月25日時点）を除いた面積である。（12ページの【参考１】参照）。

２　生産者が使用しているふるい目幅で選別された10ａ当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である（令和８年産は予想）。

３　生産者が使用しているふるい目幅は、以下による。

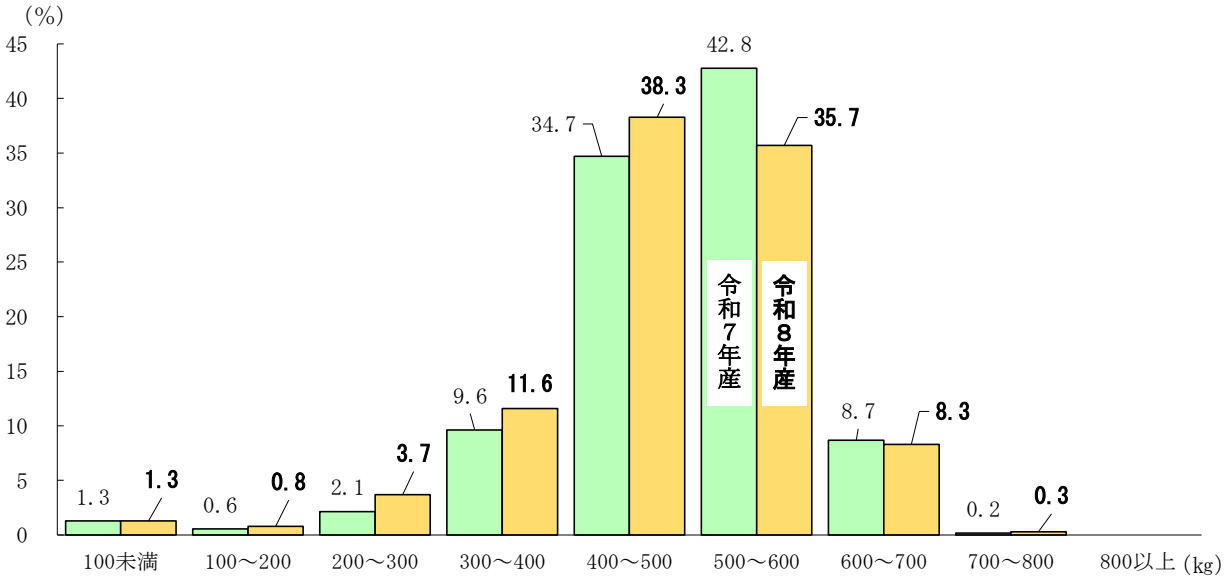
平成27年産から令和元年産まで：　全国農業地域ごとに、過去５か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅である。

令和２年産以降　：　都道府県ごとに、過去５か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

都道府県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
ふるい目幅	1.85㎜	1.85㎜	1.80㎜	1.85㎜	1.85㎜	1.80㎜	1.80㎜

４　「nc」は計算不能であることを示している。

図２　令和８年産水稲の作況標本筆の10ａ当たり収量の分布状況（九州）
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



注：　10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、九州においては全作況標本筆の調査が終了していないため、次回公表において数値が変動することがある。

表１　令和８年産水稲の玄米品位の状況（九州）

単位:%

区　　分	白未熟粒	死米	胴割粒	着色粒
重量割合	2.7	0.1	1.7	1.9
前 年 値	4.8	0.3	1.4	0.2
対前年差(ポイント)	△ 2.1	△ 0.2	0.3	1.7

注：１　水稲作況標本筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）を、筆ごとに穀粒判別器を用いて品位分析を行い、その結果を集計したものであり、調製のうえ販売される玄米の品位とは異なる。

２　白未熟粒は白色不透明な部分の大きさが粒平面の１/２以上のものである粒、死米は粉状質で光沢がないものが２/３以上を占める粒、胴割粒は粒平面に横一条の亀裂がすっきり通っている粒、着色粒は着色部分の大きさが直径１㎜以上かつ粒表面の２/３以下のものである粒をいう。

３　品位分析が完了した筆の結果であり、次回公表において数値が変動することがある。

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10ａ当たり収量及び収穫量（主食用）

生産者等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10ａ当たり収量及び収穫量（主食用）の概数値を示すと次のとおりである。

本調査では、農産物規格規程に定める三等以上の玄米の重量を把握しており、未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

表２　ふるい目幅別重量分布状況の推移（九州）

単位：％

年　産	計	1.70㎜以上 1.75㎜未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00㎜ 以　上
令和２年産	100.0	2.0	3.7	4.4	6.7	26.4	56.8
3	100.0	0.9	1.7	2.1	3.4	18.1	73.8
4	100.0	1.4	2.8	3.3	4.9	21.7	65.9
5	100.0	0.8	1.5	1.8	3.2	14.5	78.2
6	100.0	1.1	2.0	2.5	4.4	17.7	72.3
7	100.0	1.0	1.6	1.9	3.3	13.3	78.9
8　（概数値）	**100.0**	**1.1**	**2.0**	**2.4**	**4.7**	**20.8**	**69.0**
対前年差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.1	0.4	0.5	1.4	7.5	△ 9.9

注：　ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である（以下同じ。）。

表３　ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（主食用）の推移（九州）

年　産	区　　分	単位	1.70㎜ 以　上	1.75㎜ 以　上	1.80㎜ 以　上	1.85㎜ 以　上	1.90㎜ 以　上	2.00㎜ 以　上
令和２年産	10ａ当たり収量	kg	440	431	415	396	366	250
	収穫量（主食用）	t	673,300	659,800	634,900	605,300	560,200	382,400
3	10ａ当たり収量	kg	485	481	472	462	446	358
	収穫量（主食用）	t	723,800	717,300	705,000	689,800	665,200	534,200
4	10ａ当たり収量	kg	494	487	473	457	433	326
	収穫量（主食用）	t	713,200	703,200	683,200	659,700	624,800	470,000
5	10ａ当たり収量	kg	497	493	486	477	461	389
	収穫量（主食用）	t	693,800	688,200	677,800	665,400	643,200	542,600
6	10ａ当たり収量	kg	489	484	474	462	440	354
	収穫量（主食用）	t	676,000	668,600	655,000	638,100	608,400	488,700
7	10ａ当たり収量	kg	513	508	500	490	474	406
	収穫量（主食用）	t	767,400	760,000	748,000	733,800	708,400	606,100
8（概数値）	**10ａ当たり収量**	kg	**508**	**501**	**492**	**479**	**455**	**350**
	収穫量（主食用）	t	**779,700**	**771,200**	**756,100**	**735,600**	**699,200**	**537,400**
	対前年比（収穫量（主食用））	%	102	101	101	100	99	89

注：１　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、九州計の10ａ当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

２　ふるい目幅別の収穫量（主食用）とは、九州計の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

３　10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、九州においては全作況標本筆の調査が終了していないため、次回公表において数値が変動することがある。

【調査結果】

1　作付面積

九州における令和８年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は15万3,700haで、前年産に比べ4,200ha増加となった。

2　10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

10月25日現在における九州の10ａ当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、482kg（前年産に比べ△10kg）と見込まれる。

これは、早期栽培では田植期以降、気温、日照時間ともに確保され初期生育は良好だったものの、６月の日照時間が少なかったことにより登熟に影響がみられた。普通栽培では、７月が高温多照に推移したことから全もみ数は確保されたものの、９月が日照不足で推移したため、前年産を下回ることが見込まれるためである。

各県別にみると、以下のとおりである。

福岡県は463kg（前年産に比べ△15kg）、佐賀県は516kg（同＋１kg）、長崎県は484kg（同△８kg）、熊本県は504kg（同±０kg）、大分県は455kg（同△33kg）、宮崎県は461kg（同△22kg）、鹿児島県は478kg（同△６kg）と見込まれる。

3　予想収穫量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

主食用作付面積に10ａ当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は74万700ｔ（前年産に比べ3,800ｔ増加）と見込まれる。

4　作況単収指数（生産者が使用しているふるい目幅ベース）

九州の作況単収指数は102と見込まれる。

参考

10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）

10月25日現在における九州の10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）は、508kg（前年産に比べ△５kg）と見込まれる。

各県別にみると、以下のとおりである。

福岡県は493kg（前年産に比べ△11kg）、佐賀県は544kg（同＋４kg）、長崎県は500kg（同△２kg）、熊本県は533kg（同＋８kg）、大分県は488kg（同△27kg）、宮崎県は474kg（同△18kg）、鹿児島県は490kg（同△３kg）と見込まれる。

予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（ふるい目幅1.70㎜ベース）

主食用作付面積に10ａ当たり予想収量（ふるい目幅1.70㎜ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は77万9,700ｔ（前年産に比べ１万2,300ｔ増加）と見込まれる。

表４　令和８年産水稲の作付面積（主食用）及び10月25日現在の予想収穫量

区　分	作付面積（主食用）			生産者が使用しているふるい目幅で選別					作況単収指数
	実　数 ①	前年産との比較		10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））			
				実　数 ②	前年産との比較	実　数 ③＝①×②	前年産との比較		
		対　差	対　比		対　比		対　差	対　比	
	ha	ha	%	kg	%	t	t	%	
九　州	153,700	4,200	103	482	98	740,700	3,800	101	102
福　岡	35,300	800	102	463	97	163,400	△1,500	99	102
佐　賀	24,600	900	104	516	100	126,900	4,800	104	105
長　崎	9,450	△　10	100	484	98	45,700	△　800	98	103
熊　本	33,000	1,100	103	504	100	166,300	5,500	103	104
大　分	19,200	300	102	455	93	87,400	△4,800	95	98
宮　崎	14,100	600	104	461	95	65,000	△　200	100	97
うち早期栽培	…	nc	nc	461	96	…	nc	nc	96
うち普通栽培	…	nc	nc	463	96	…	nc	nc	97
鹿　児　島	18,000	400	102	478	99	86,000	800	101	102
うち早期栽培	…	nc	nc	460	99	…	nc	nc	101
うち普通栽培	…	nc	nc	484	99	…	nc	nc	102

区　分	ふるい目幅1.70㎜で選別				
	10ａ当たり予想収量		予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））		
	実　数 ④	前年産との比較	実　数 ⑤＝①×④	前年産との比較	
		対　比		対　差	対　比
	kg	%	t	t	%
九　州	508	99	779,700	12,300	102
福　岡	493	98	174,000	100	100
佐　賀	544	101	133,800	5,800	105
長　崎	500	100	47,300	△　200	100
熊　本	533	102	175,900	8,400	105
大　分	488	95	93,700	△3,600	96
宮　崎	474	96	66,800	400	101
うち早期栽培	466	95	…	nc	nc
うち普通栽培	481	97	…	nc	nc
鹿　児　島	490	99	88,200	1,400	102
うち早期栽培	467	99	…	nc	nc
うち普通栽培	497	100	…	nc	nc

注：１　作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稲全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

２　生産者が使用しているふるい目幅で選別された10ａ当たり予想収量（②）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

３　生産者が使用しているふるい目幅で選別された10ａ当たり予想収量（②）については、各県の過去５か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

４　10ａ当たり予想収量（④）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

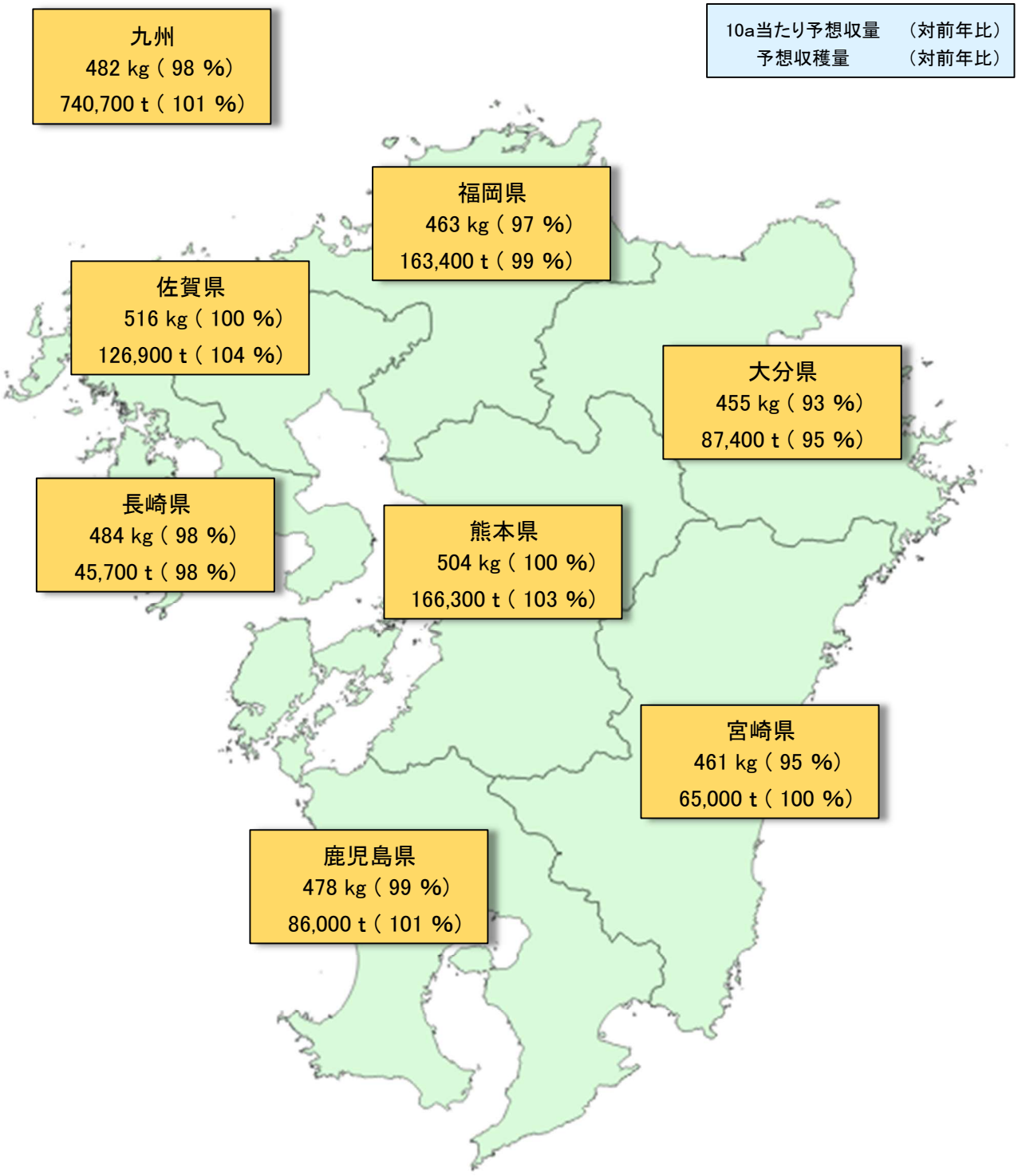
５　予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））（⑤）については、各県の積上げ値を四捨五入しているため、表頭の計算は一致しない場合がある。

６　作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10ａ当たり予想収量の前年産までの５か年中３年平均（最高、最低除く）に対する10ａ当たり収量の比率である。

７　「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

８　「nc」は、計算不能であることを示している。

図３　令和８年産九州管内の県別10ａ当たり予想収量及び予想収穫量
（10月25日現在）
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



注：　生産者が使用しているふるい目幅は、九州の各県ごとに、過去５か年平均において、最も多い使用割合を占めるふるい目幅である。

【生産者が使用しているふるい目幅】

都道府県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
ふるい目幅	1.85mm	1.85mm	1.80mm	1.85mm	1.85mm	1.80mm	1.80mm

表５　令和８年産ふるい目幅別重量分布状況
（10 月 25 日現在）

単位：％

区分		計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
九州	重量割合	100.0	1.1	2.0	2.4	4.7	20.8	69.0
	前年値	100.0	1.0	1.6	1.9	3.3	13.3	78.9
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.4	0.5	1.4	7.5	△ 9.9
福岡	重量割合	100.0	1.2	2.1	2.8	5.1	21.2	67.6
	前年値	100.0	1.1	1.8	2.3	3.6	13.3	77.9
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.3	0.5	1.5	7.9	△ 10.3
佐賀	重量割合	100.0	1.1	1.8	2.0	3.7	18.3	73.1
	前年値	100.0	1.1	1.6	1.7	3.3	12.4	79.9
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.2	0.3	0.4	5.9	△ 6.8
長崎	重量割合	100.0	1.2	2.2	3.0	5.3	24.3	64.0
	前年値	100.0	0.6	1.1	1.6	2.5	12.2	82.0
	対前年差(ポイント)	0.0	0.6	1.1	1.4	2.8	12.1	△ 18.0
熊本	重量割合	100.0	0.8	1.6	1.9	4.4	21.1	70.2
	前年値	100.0	1.0	1.5	1.8	3.0	13.7	79.0
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.2	0.1	0.1	1.4	7.4	△ 8.8
大分	重量割合	100.0	1.7	2.8	2.8	7.5	27.2	58.0
	前年値	100.0	1.1	1.9	2.2	4.5	16.0	74.3
	対前年差(ポイント)	0.0	0.6	0.9	0.6	3.0	11.2	△ 16.3
宮崎	重量割合	100.0	0.9	1.9	2.5	4.3	20.0	70.4
	前年値	100.0	0.6	1.2	1.5	2.5	13.9	80.3
	対前年差(ポイント)	0.0	0.3	0.7	1.0	1.8	6.1	△ 9.9
うち早期栽培	重量割合	100.0	0.4	0.8	0.9	1.6	9.8	86.5
	前年値	100.0	0.5	0.9	1.0	1.5	8.1	88.0
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.1	1.7	△ 1.5
うち普通栽培	重量割合	100.0	1.2	2.6	3.5	5.9	26.0	60.8
	前年値	100.0	0.7	1.4	1.9	3.1	17.3	75.6
	対前年差(ポイント)	0.0	0.5	1.2	1.6	2.8	8.7	△ 14.8
鹿児島	重量割合	100.0	0.8	1.5	2.2	3.1	15.3	77.1
	前年値	100.0	0.7	1.2	1.7	2.8	10.9	82.7
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.3	0.5	0.3	4.4	△ 5.6
うち早期栽培	重量割合	100.0	0.6	1.2	1.7	3.3	17.0	76.2
	前年値	100.0	0.6	1.2	1.6	2.7	12.1	81.8
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	4.9	△ 5.6
うち普通栽培	重量割合	100.0	0.9	1.6	2.4	3.1	14.8	77.2
	前年値	100.0	0.7	1.2	1.7	2.8	10.6	83.0
	対前年差(ポイント)	0.0	0.2	0.4	0.7	0.3	4.2	△ 5.8

注：１　ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である。

２　10 月 25 日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、九州においては全作況標本筆の調査が終了していないため、次回公表において数値が変動することがある。

表６　令和８年産ふるい目幅別 10ａ当たり収量及び収穫量（主食用）
（10 月 25 日現在）

区分		単位	1.70㎜以上	1.75㎜以上	1.80㎜以上	1.85㎜以上	1.90㎜以上	2.00㎜以上
九州	10ａ当たり収量	kg	508	501	492	479	455	350
	収穫量（主食用）	t	779,700	771,200	756,100	735,600	699,200	537,400
福岡	10ａ当たり収量	kg	493	487	476	463	438	334
	収穫量（主食用）	t	174,000	171,900	168,300	163,400	154,600	117,800
佐賀	10ａ当たり収量	kg	544	536	527	516	496	396
	収穫量（主食用）	t	133,800	132,300	129,900	126,900	122,000	97,500
長崎	10ａ当たり収量	kg	500	495	484	468	442	320
	収穫量（主食用）	t	47,300	46,700	45,700	44,300	41,800	30,300
熊本	10ａ当たり収量	kg	533	528	519	504	480	369
	収穫量（主食用）	t	175,900	174,500	171,700	166,300	158,700	122,100
大分	10ａ当たり収量	kg	488	479	466	455	418	285
	収穫量（主食用）	t	93,700	92,100	89,500	87,400	80,300	54,700
宮崎	10ａ当たり収量	kg	474	470	461	449	428	333
	収穫量（主食用）	t	66,800	66,200	65,000	63,300	60,500	47,100
うち早期栽培	10ａ当たり収量	kg	466	464	461	457	449	404
	収穫量（主食用）	t	…	…	…	…	…	…
うち普通栽培	10ａ当たり収量	kg	481	476	463	446	418	293
	収穫量（主食用）	t	…	…	…	…	…	…
鹿児島	10ａ当たり収量	kg	490	485	478	467	452	377
	収穫量（主食用）	t	88,200	87,500	86,000	84,000	81,300	67,900
うち早期栽培	10ａ当たり収量	kg	467	465	460	452	436	355
	収穫量（主食用）	t	…	…	…	…	…	…
うち普通栽培	10ａ当たり収量	kg	497	493	484	474	458	385
	収穫量（主食用）	t	…	…	…	…	…	…

注：１　ふるい目幅別の 10ａ当たり収量とは、九州又は県別の 10ａ当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

２　ふるい目幅別収穫量（主食用）とは、九州又は県別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

３　10 月 25 日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、九州においては全作況標本筆の調査が終了していないため、次回公表において数値が変動することがある。

表７　令和８年産水稲の作況標本筆の 10ａ当たり収量の分布状況
（10 月 25 日現在）

単位：％

区分		計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
九州	筆数割合	100.0	1.3	0.8	3.7	11.6	38.3	35.7	8.3	0.3	－
	前年値	100.0	1.3	0.6	2.1	9.6	34.7	42.8	8.7	0.2	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.2	1.6	2.0	3.6	△ 7.1	△ 0.4	0.1	－
福岡	筆数割合	100.0	2.6	－	3.4	12.1	43.1	33.2	5.6	－	－
	前年値	100.0	－	0.4	2.7	11.6	46.0	36.6	2.7	－	－
	対前年差(ポイント)	0.0	2.6	△ 0.4	0.7	0.5	△ 2.9	△ 3.4	2.9	－	－
佐賀	筆数割合	100.0	0.6	－	1.3	6.5	34.4	47.5	9.7	－	－
	前年値	100.0	－	－	1.1	5.8	31.1	50.9	11.1	－	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.6	－	0.2	0.7	3.3	△ 3.4	△ 1.4	－	－
長崎	筆数割合	100.0	4.5	1.5	1.5	9.8	31.8	39.5	10.6	0.8	－
	前年値	100.0	5.5	－	0.8	5.5	30.5	46.0	11.7	－	－
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 1.0	1.5	0.7	4.3	1.3	△ 6.5	△ 1.1	0.8	－
熊本	筆数割合	100.0	－	0.6	4.5	10.1	34.6	35.6	14.0	0.6	－
	前年値	100.0	2.5	0.4	2.5	9.2	28.5	42.7	14.2	－	－
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 2.5	0.2	2.0	0.9	6.1	△ 7.1	△ 0.2	0.6	－
大分	筆数割合	100.0	－	2.6	7.2	18.3	36.6	26.1	9.2	－	－
	前年値	100.0	0.7	0.7	1.3	11.8	34.6	44.4	6.5	－	－
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.7	1.9	5.9	6.5	2.0	△ 18.3	2.7	－	－
宮崎	筆数割合	100.0	1.2	0.6	4.2	14.4	44.9	29.3	4.8	0.6	－
	前年値	100.0	－	1.2	2.9	13.5	38.3	33.5	10.0	0.6	－
	対前年差(ポイント)	0.0	1.2	△ 0.6	1.3	0.9	6.6	△ 4.2	△ 5.2	0.0	－
鹿児島	筆数割合	100.0	－	0.6	3.1	9.4	40.3	40.9	5.7	－	－
	前年値	100.0	1.2	1.2	3.1	9.3	32.1	48.2	4.3	0.6	－
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 1.2	△ 0.6	0.0	0.1	8.2	△ 7.3	1.4	△ 0.6	－

注：１　10ａ当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

２　10 月 25 日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、九州においては全作況標本筆の調査が終了していないため、次回公表において数値が変動することがある。

【統計表】
https://www.maff.go.jp/kyusyu/press/toukei/261120.html
【調査の概要】
・面積調査
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/
・作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

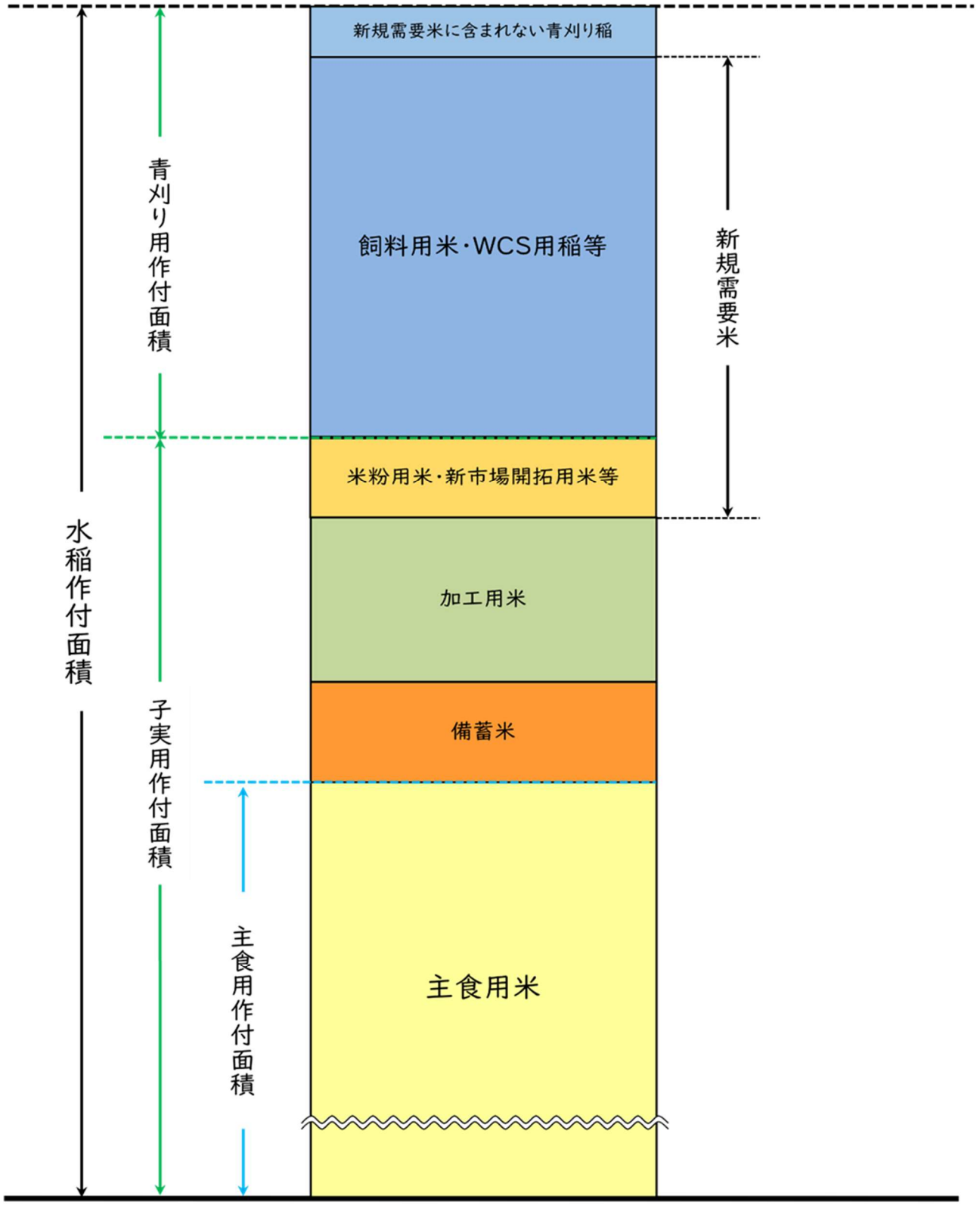
【水稲調査結果の主な利活用】
・　主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成６年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
・　「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
・　米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
・　農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】
・　九州の各種農林水産統計調査結果は、九州農政局ホームページの「統計情報」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html
・　全国の調査結果は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積･生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3
・　本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和９年２月予定）します。
・　次回（収穫期）の公表は、令和８年12月上旬の予定です。
・　公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】
・　農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
https://www.maff.go.jp/j/nousan/
・　病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報
https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/
※　上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。
なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

【参考１】

水稲作付面積の概念図



【参考２】

刈取り調査における10ａ当たり収量の算出方法

作況標本筆（【参考３】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い10ａ当たり収量を算出している（下図参照）。



作況標本筆（全国約８千筆）

刈　取　り

脱穀・乾燥・もみすり

ふるい目幅別に重量を測定

ふるい選別

1.70㎜未満

生産者ふるい目幅以上の玄米の算出

1筆ごとの10ａ当たり玄米重
生産者ふるい目幅ベース
（生産者ふるい目幅以上）

1.70㎜目幅以上の玄米の算出

1筆ごとの10ａ当たり玄米重
1.70㎜ベース
（1.70㎜以上）

農産物検査員等
による品位検査
（三等以上）

農産物検査員等
による品位検査
（三等以上）

三等不合格
（規格外）

三等不合格
（規格外）

再選別

三等に達するまで
被害粒等を除去

再選別による
補正

再選別による
補正

再選別

三等に達するまで
被害粒等を除去

コンバインロス率による補正

被害粒等

被害粒等

1筆ごとの
10ａ当たり収量
（生産者ふるい目幅以上、
三等以上）

1筆ごとの
10ａ当たり収量
（1.70㎜以上、三等以上）

（被害が発生した場合）

被害状況を
把握

別途推計した
被害率による補正

10ａ当たり収量
（生産者ふるい目幅以上、三等以上）

10ａ当たり収量
（1.70㎜以上、三等以上）

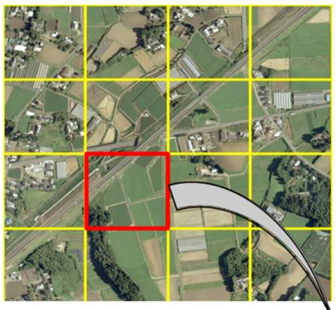
1.70㎜ふるい下米等

【参考３】

作況標本筆（ふで）とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（１枚のほ場を筆（ふで）と呼ぶ。） は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約８千筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



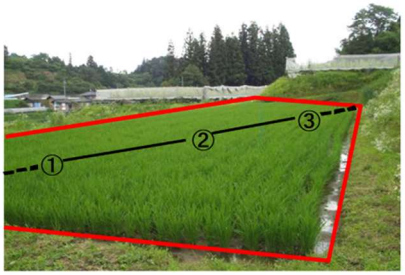
１　全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



２　標本単位区の中から無作為に１枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で約８千筆）



３　各作況標本筆の対角線上の３か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに１㎡（合計３㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

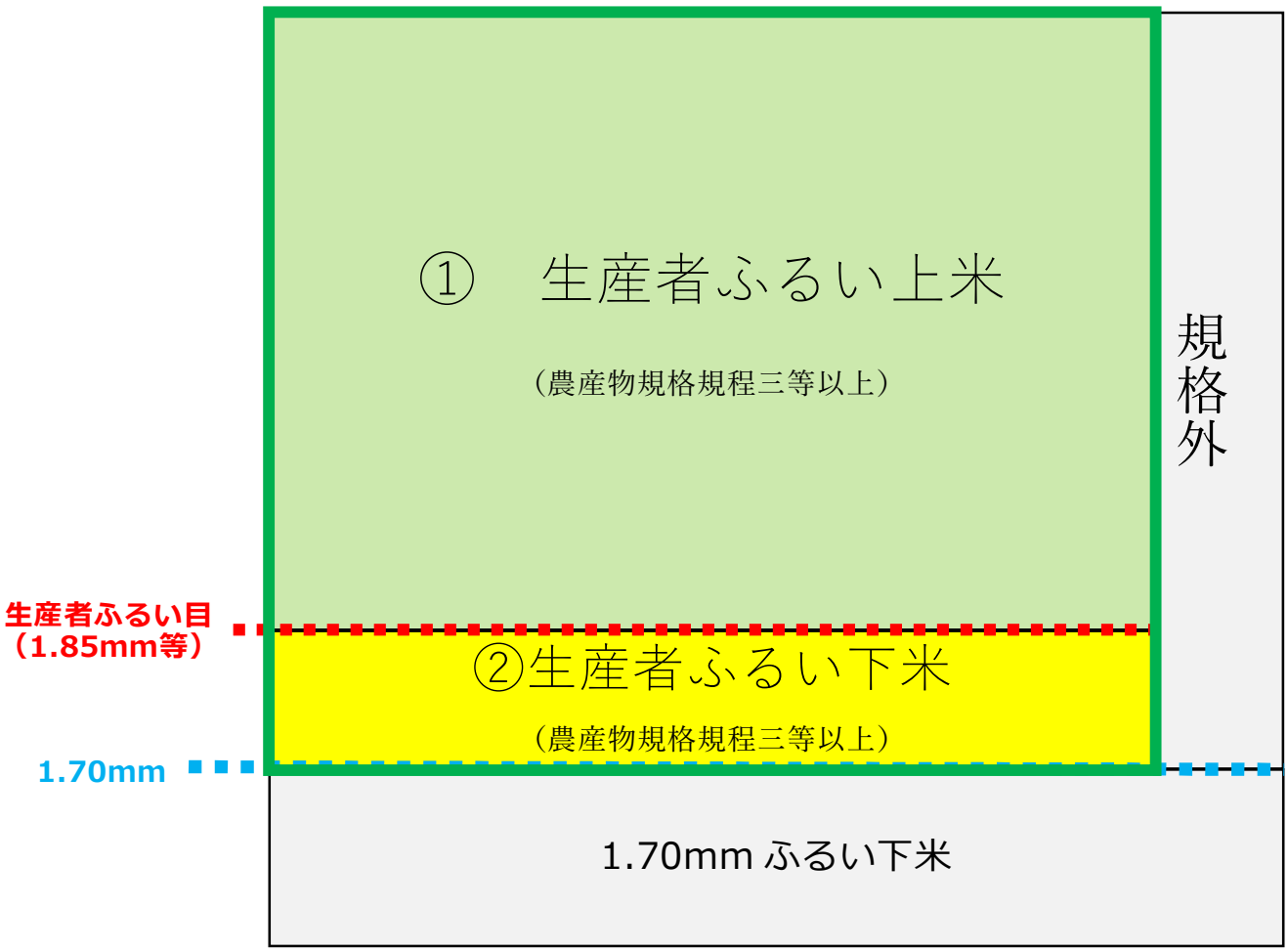
【参考４】

水稲収穫量調査の収穫量イメージ

① 収穫量（生産者ふるい上米）は、都道府県ごとに最も使用されている生産者ふるい目（1.80～1.90mm 等）以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。

② 収穫量（生産者ふるい下米）は、ふるい目幅 1.70mm 以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。

③ 収穫量（生産者ふるい下米含む）は、①と②をあわせた収穫量（緑枠）を対象としている。



お問合せ先

◎本統計調査結果について

九州農政局　統計部　生産流通消費統計課
面　積　電話：（直通）096-300-6561（統計専門官）
収穫量　電話：（直通）096-300-6576（統計品質向上専門官）

九州農政局　福岡県拠点　統計担当
電話：（直通）092-281-8262

九州農政局　佐賀県拠点　統計担当
電話：（直通）0952-26-4138

九州農政局　長崎県拠点　統計担当
電話：（直通）095-845-6227

九州農政局　統計部　統計調査担当
電話：（直通）096-300-6583

九州農政局　大分県拠点　統計担当
電話：（直通）097-532-6177

九州農政局　宮崎県拠点　統計担当
電話：（直通）0985-24-2373

九州農政局　鹿児島県拠点　統計担当
電話：（直通）099-222-7583

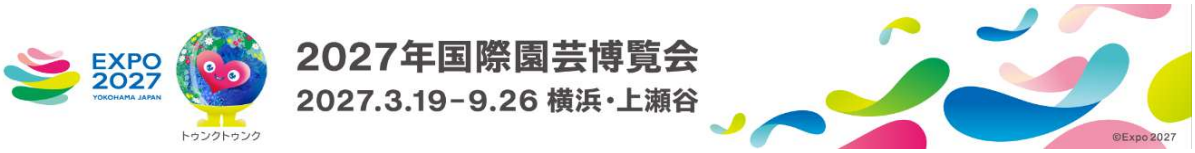
◎農林水産統計全般について

九州農政局　統計部　統計企画課（企画係長）
電話：（直通）096-300-6540

政府統計

政府統計の総合窓口
（e-Stat）
https://www.e-stat.go.jp/

SAFF
データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries



○オンラインコミュニティ「みのりボイス」の開設について

水稲生産者や関係機関の皆様が参加できるオンラインコミュニティ「みのりボイス」を開設しました。生産者・農業関係者ならどなたでも参加でき、皆様から共有いただいた全国各地の生育状況や被害情報などを地図上で確認できるほか、農業ニュースや気象情報も閲覧でき、日々の営農判断にもご活用いただけます。

以下の URL または右側の二次元コードから、ぜひご参加ください。
https://minori-voice.maff.go.jp/lp/

○水稲収穫量調査の試行調査について

一部の水稲生産者の方々を対象に水稲収穫量調査の試行調査を実施しております。

調査時期　**令和８年９月、10 月、11 月の３回**

調査方法　統計調査員による聞き取り、オンライン、郵送のいずれか
オンライン、郵送調査は農林水産省作物統計調査第２次試行調査事務局により実施します。

お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。